

「原子カムラ」の境界を越えるためのコミュニケーション・フィールドの試行  
第4回業務推進全体会合  
議事録

日時：平成25年12月20日（金） 9：00～12：00

場所：TKP スター会議室根津

出席者：17名（順不同・敬称略）

木村 浩（PONPO）、足立（元気ネット）、植木（元気ネット）、大石（PONPO）、  
神崎（PONPO）、鬼沢（元気ネット）、木村 謙（東大）、久保（PONPO）、佐田（JAEA）、  
篠田（若狭湾エネ研）、渋谷（元気ネット）、竹中（PONPO）、土田（関西大）、  
中岡（元気ネット）、丸山（PONPO）、三谷（原子力コミュニケーションズ）、  
諸葛（PONPO）、

配布資料

4-0. 議事次第

4-1. 第3回業務推進全体会合議事録案

4-2. 第7回エネルギーと原子力に関するアンケート（2013年度首都圏住民用調査票）

4-2'. 第6回エネルギーと原子力に関するアンケート（2012年度首都圏住民用調査票）

4-3. 第8回エネルギーと原子力に関するアンケート（2013年度原子力学会員用調査票）

4-3'. 第7回エネルギーと原子力に関するアンケート（2012年度原子力学会員用調査票）

4-4. 第7回「エネルギーと原子力に関するアンケート」ご協力をお願い

4-5. 第8回「エネルギーと原子力に関するアンケート」ご協力をお願い

4-6. フォーラムへのご協力をお願い

4-7. 「フォーラム」とは？

4-8. フォーラム参加申込書（首都圏住民用）

4-9. フォーラム参加申込書（原子力学会員用）

4-10. フォーラムのシステム化について

議題

0. 議事録確認

1. 社会調査に関する検討

2. フォーラムのシステム化について

3. その他

※議論の詳細については、逐語録に記録されている。

## 0. 議事録確認（配布資料 4-1）

木村<sub>浩</sub>氏より、資料 4-1 に基づき、前回の議論の内容が確認された。

## 1. 社会調査に関する検討（配布資料 4-2～4-9）

土田氏より、資料 4-2、4-3 に基づき、今年度の社会調査票の内容が説明された。その後、活発な議論が行われた。主な変更（案）を以下に示す。

### 【共通】

- ・ Q3（人や組織に対する信頼）：「原子力の専門家」という選択肢に対して、専門家一般のことも聞いてはどうか。  
→「科学者・研究者」を選択肢に追加。「医者」を削除。
- ・ Q16：「ノ）汚染水はコントロールできていないと思う」は、人によってコントロールできていると思う範囲が異なるし、聞く意味があまりないのではないか。  
→「汚染水の影響が不安である」に変更。
- ・ Q17：「キ）福島第一原子力発電所事故で立ち入りが制限された区域は、もうすぐ人が住めるようになると思う」は、対象が漠然としすぎではないか。  
→対象を絞ること、適切な表現をすることが困難なため、削除。
- ・ Q19：「除染によって発生した放射性廃棄物」は、「除染によって発生した廃棄物」に変更。
- ・ Q20：「地層処分場での過酷な事故～」は「地層処分場での大きな事故～」に変更。

### 【首都圏住民用のみ】

- ・ Q24（職業）：「専業主婦」を「専業主婦・主夫」に変更。

### 【原子力学会員用のみ】

- ・ Q16：「ハ）（学会員のみ質問）私は、福島の除染基準について、追加被ばく線量を 1mSv/yr から 20mSv/yr に変更するべきだと考える」は、20 という数字のみに対して「納得できる」～「納得できない」のスケールで測ることに意味があるのか。  
→削除。

また、社会調査票に同封される資料 4-4、4-5 や、フォーラム募集時に使用される資料 4-6、4-7 の文言の修正・確定が行なわれた。(細かい修正内容は省略する)

続いて、資料 4-8、4-9 (フォーラム参加申込書) の内容が議論された。

- ・ 原子力学会員の Q3 (経歴) は継続。
- ・ Q7 (省エネ)、Q8 (電気料金) は削除し、原子力に関する考えを聞く設問 (関心、利用－廃止、有用－無用、安心－不安、経済発展) を全て入れる。
- ・ 順序は、利用－廃止 (表面)、有用－無用、安心－不安、経済発展、関心 (裏面) とする。(表面に重要度が高い設問を載せる)

社会調査に関する各書類については、以上の議論を踏まえ、社会調査コアグループによって内容が確定されることになった。

## 2. フォーラムのシステム化について (配布資料 4-10)

木村<sup>浩</sup>氏より、資料 4-10 に基づき、フォーラム研究会で検討されているフォーラムのシステム化についての説明がなされた。時間の都合上、議論は省略された。フォーラムのシステム化については、フォーラム研究会で引き続き検討を続ける予定である (その際は、フォーラム研究会のメンバー以外の方にも参加を呼びかける予定)。

## 3. その他

木村<sup>浩</sup>氏より、次回 (第 5 回) の会合が 3 月に開催予定であることが告知された。次回は成果の取りまとめを中心に、社会調査結果の検討、フォーラムのシステム化の議論などを行う予定である。

以上